

# 茨城県農産物販売推進東京本部情報

令和2年(2020年)10月

## 1 東京都中央卸売市場(2020年1-9月)の青果物取扱高について

① 全体の入荷量は約135.1万tで前年比3%減、金額は約4115億円で前年比4%増となった。

② 茨城県産の入荷量は約15.3万tで前年比2%減、金額は約440億円で前年比13%増となった。

(金額の内訳は、野菜約363億円、果実約77億円。前年同期比で野菜16%増、果実1%減、平年同期比で野菜4%増、果実1%減。)

金額が【増加】した品目(前年対比)：にら(132%)、ピーマン(113%)、なす(111%)、くり(124%)

金額が【減少】した品目(前年対比)：レタス類(51%)、みず菜(74%)、トマト(81%)、日本なし類(81%)

茨城県の青果物入荷量は平年比3%減(シェア11.3%)、取扱金額は同3%増(シェア10.7%)となった。

	市場計 ※2			茨城			他県のシェア(9月計)			
	1~9月計	年間計	年間比	1~9月計	年間計	年間比	千葉	北海道	栃木	
数量	2020	1,350,919		153,031	←シェア(11.3%)		10.7%	11.0%	3.2%	
	2019	1,390,682	1,916,676	72.6	155,783	222,375	70.1	10.8%	9.4%	3.5%
	(前年比)	97			98	シェア(11.2%)				
	平年値※	1,422,298	1,954,409	72.8	157,728	227,118	69.4			
	(平年比)	95			97	シェア(11.1%)				
金額	2020	411,472		44,003	←シェア(10.7%)		7.5%	5.6%	6.0%	
	2019	393,899	534,568	73.7	39,049	52,199	74.8	7.5%	5.4%	6.4%
	(前年比)	104			113	シェア(9.9%)				
	平年値※	417,789	565,288	73.9	42,575	57,490	74.1			
	(平年比)	98			103	シェア(10.2%)				

(単位：t, 百万円, %)

※1：平年値は2015-2019年の5か年平均。

※2：市場計は東京都中央卸売市場における総計を表す。

《参考》  
2019年実績  
(1-12月計)

茨城県：金額シェア(9.8%)、数量シェア(11.6%)  
千葉県：金額シェア(7.2%)、数量シェア(10.5%)  
北海道：金額シェア(5.8%)、数量シェア(11.0%)  
栃木県：金額シェア(6.0%)、数量シェア(3.2%)

## 2 東京都中央卸売市場(令和2年9月単月)の茨城県産青果物主要品目の取扱高

( )内は前年対比

野菜類の入荷量は約8.0千トン(101%)、単価は373円(98%)、金額は約30億円(99%)

果実類の入荷量は約1.5千トン(68%)、単価は514円(138%)、金額は約8億円(94%)

※平年比(全国比)は、市場全体の数量、単価と、市場全体の2015~2019年同月の5か年平均値との比率

	品目	数量(t)				単価(円/kg)				金額(千円)		
			前年比	平年比	平年比(全国比)		前年比	平年比	平年比(全国比)		前年比	平年比
野菜	ピーマン	888	107	103	114	468	105	114	108	415,942	113	118
	れんこん	813	101	100	99	456	104	93	93	370,782	105	92
	こまつな	680	120	129	106	343	85	90	89	233,001	101	115
	ミニトマト	462	157	111	109	481	65	75	74	222,354	102	84
	野菜総計	7,962	101	94	93	373	98	97	94	2,970,215	99	91
果実	日本なし類	883	53	49	59	492	153	186	187	434,965	81	92
	果実総計	1,531	68	60	76	514	138	155	145	786,956	94	93

(野菜)

9月は残暑厳しい中でも定期的な降雨があり順調な出荷となった。

レタスは、8月の干ばつの影響による数量減から回復し、9月中下旬は数量増加して安値での販売となった。キャベツは干ばつの影響により小玉傾向となり、高値が続いた。

なす、きゅうり等の果菜類は、夏期の高温により例年より少ない数量で推移した。

(果実)

台風3号、4号が接近したものの、各産地大きな影響はなく順調な出荷となった。

9月上旬は残暑の影響によりすいかや梨の引き合いが強かったが、中旬から気温が低下し、柿やみかんの引き合いが強まった。

柿は高温により一部着色が鈍った品種もあったが、概ね前年より早い出荷開始となった。

※各数値は、東京都中央卸売市場実績を基に算出